

10分でわかる！

入学前教育 「学問サキドリプログラム」の特徴



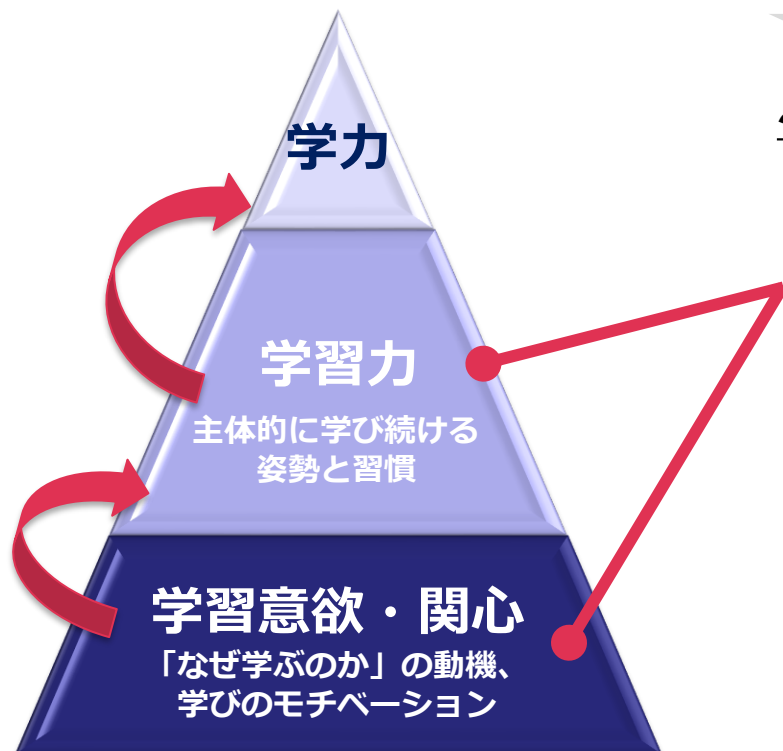
株式会社 進研アド
教育事業本部

「学問サキドリプログラム」の考え方

2

学力の定着には、主に以下の点が阻害要因として考えられます。

- ✓ 正しい勉強の進め方が分からず、勉強しているつもりでも吸収できていない
- ✓ 勉強に苦手意識があり、やる気が起きない



～学問サキドリプログラムのアプローチ～

学力の定着には、
学習意欲（学びへのモチベーション）と
学習力（主体的に学び続ける姿勢と習慣）
の土台を整える必要があります。

合格から入学までに学びの空白があると、
この学力形成の基盤である「学習意欲」と「学習習慣」は
減退しやすいと言われています。

→「入学前教育」で補填

学問サキドリプログラムでは、

- ① 苦手意識を取り除いて、正しい学習行動を体験・反復すること
- ② 入学後の学びに必要な準備が分かり、前向きな意識を醸成すること を実現します。

**①大学の学びに対するイメージが膨らみ、
これから学ぶ学問への興味・関心が高まる内容**

**②計画的・継続的に取り組むための
プログラム設計とサポート体制**

**③学生ごとの状態や特性を
早期から把握できる受講データ**

特長①：学問サキドリプログラムの教材構成

①大学の学びへのイメージ・
学問への興味・関心を醸成

4

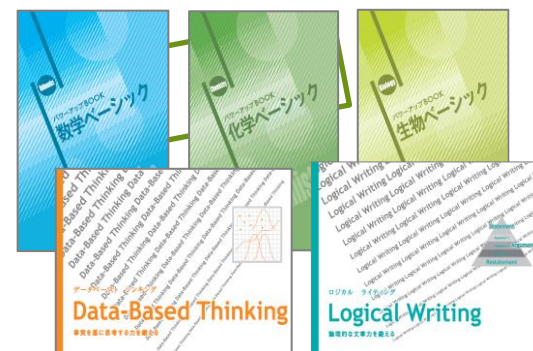
スタートBOOK



- ◇社会科学系
- ◇人文学系
- ◇生活・人間系
- ◇理工系
- ◇保育・児童系
- ◇食物・栄養系
- ◇看護・医療系
- ◇リハビリ・医療系
- ◇医療技術系
- ◇薬学系
- ◇学ぶ力の基礎
- ◇Global View英語

入学後の学びをプレ体験できる系統別ワークと問題設定

パワーアップBOOK



- 【教科学力系】
- ◇数学ベーシック
- ◇数学ベーシックプラス
- ◇物理ベーシック
- ◇化学ベーシック
- ◇生物ベーシック
- 【アカデミック系】
- ◇ロジカルライティング
- ◇データベーストシンキング

※パワーアップBOOKの組み合わせや数は
ご要望に合わせて選択可能です

高校までの学びの補完とアカデミックスキルの醸成

学問系統別に12教材の展開しており、
科目単位ではなく、大学の学びに沿った内容で、「大学での学びを先取る」設計。
高校までの学習内容を結びつける予習型の編集で「なぜこの学習が必要なのか」を訴求。

特長①：教材構成と内容のポイント

①大学の学びへのイメージ・
学問への興味・関心を醸成

Unit構成のポイント

科目ごとにSTAGEを設けるのではなく、ランダムに配置しており、履修科目や得意分野・苦手分野による取り組みのばらつきを防ぎます。

Unit内容のポイント①

各Unitの冒頭の「学習のねらい」では、学習目的と分野の学びをつなげた解説があり、学習の必要性を理解しながら取り組むことができます。

Unit内容のポイント②

Unitで学習した内容を踏まえて、身近なテーマについて考えさせる内容や国家試験過去問等の事例を交えながら、入学後に必要となる主体的な学習を体験します。

看護・医療系

<目次抜粋>

STAGE1

- Unit1 医師・看護師不足
- Unit2 細胞のしくみとはたらき
- Unit3 量のイメージと基本計算
- Unit4 人体の組織と器官
- Unit5 医療系の化学式
- Unit6 適切な敬語を使おう
- Unit7 果乗と接頭語
- Unit8 粒子と質量を導くモルと濃度
- Unit9 図表の読み取り・四捨五入
- Unit10 人体の骨格と筋肉

Unit 28 腎臓と肝臓のはたらき
～体内の不要物を処分してくれる腎臓・肝臓～

学習のねらい

ヒトの腎臓(kidney)は、左右1対あり、体内に生じた不要物を排出している。肝臓(liver)はヒトの内臓器官のなかで最も大きく、手術などで切除しても元通りになる再生機能がある。このユニットでは、腎臓と肝臓について学ぼう。

[]に語句などを書き込んでいこう！ わからないところは、解答一覧を参考にして取り組もう。
重要な内容(……線部分など)にマーカーを引こう。

腎臓 ヒトの腎臓は、左右1対あり、ソラマメの種子のような形をしている。腎臓は、体内に生じた不要物を[]として体外に排出し、体液中の塩分濃度をほぼ一定に保ち、

関連のある医療分野

肝硬変とは…
肝細胞が破壊されて繊維が増え、肝臓が硬くなった状態を肝硬変という。ウイルス性肝炎やアルコール性肝臓障害、薬剤障害などが原因となり、悪化する。最終的に臓体がたまったたり、皮膚や粘膜が黄色になったりする(黄疸)症状などが表れ、食道静脈瘤(血管が膨れてぶくれ状になる)や肝臓がんを併発することもある。

解説CHECK1の出現と答え 看護学専攻士国家試験3回午前問題33(選択肢を1つ消す) 答え3
解説CHECK2の出現と答え 理学・作業療法士国家試験3回午前問題56(選択肢を1つ消す) 答え3 67

各ユニットでも医療現場での事例を交えながら、理解を促す工夫をしています。脈拍や点滴の速度にも計算知識が必要なことを学びます。

社会科学系

<目次抜粋>

STAGE1

- Unit1 好景気と不景気
- Unit2 「少子化問題」を考えよう！
- Unit3 自由と権利
- Unit4 情報を整理しよう
- Unit5 国際人になろう
- Unit6 グラフを有効に活用しよう
- Unit7 ライフプランを考えてみよう
- Unit8 ささまざまな社会保障
- Unit9 お金の果たす役割
- Unit10 金利について考えよう

Unit 18 人々に選ばれる商品とは？
～マーケティングの基本を身につけよう～

学習のねらい

消費者が求めている製品やサービスを提供するためのさまざまな活動を、マーケティングという。ここでは、マーケティングのなかでも特に重要なマーケティングリサーチ(市場調査)を学習しながら、マーケティングの基本を身につけていこう。

[]に語句などを書き込んでいこう！ わからないところは、解答一覧を参考にして取り組もう。
重要な内容(……線部分など)にマーカーを引こう。

マーケティング 製品の開発から販売にいたるさまざまな活

考えてみよう！

例えば、新商品を開発するとき、マーケティングリサーチなどをとくに数字(数字)を区別することを「[]」という。そして、セグメントしたなから対象を選び込むことを、「[]」という。このセグメントとターゲティングは、相手の「[]」をしっかりと把握するために重要なことである。ここでは、さまざまなスマートフォンの例から具体的に考えてみよう。

上のマーケティングリサーチでは、顧客を年代別にセグメントした。このデータから、あなたはどのように市場を拡大したらよいと思うだろうか、ターゲットとする年代となぜそのように考えたのか、その理由を書いてみよう。

ターゲットの年代
その理由

答えが必ずしも1つとは限らない問題に、自分の力で取り組むことで、入学後に必要となる主体的な学習を体験します。

テキストは全30Unitで構成され、1日1Unit30分で取り組みやすい内容。
教科別ではなく、学部の学びに沿ったテーマを学習することで、
「やる気を失う」ことを防ぎ、興味や関心を引き出す。

特長②：計画的な学習を意識した受講の実現

②学習習慣・
学習継続力の育成

8

WEB課題管理シート(紙)

テキストに同封する紙の課題締め切り日チェックシート。
取り組み締め切りを意識し、受講スケジュールを把握。

〇〇 〇〇〇様 **重要**

SAMPLE 入学準備教育『学問サキドリプログラム』
Web 課題管理シート


この用紙はあなた専用です。紛失しないよう、ご自身で大切に管理してください。
受講終了後にID・パスワードが必要な場合もありますので、2026年8月末まで保管してください。

学問サキドリプログラムの課題はWEBで取り組みます。PCもしくはスマートフォンをお手元に準備してください。

◆ あなたのユーザーIDと初期パスワードはこちら ◆

ユーザーID (半角数字 10桁)	2312345678
初期パスワード (半角)	パスワード

変更後のパスワードも忘れないうち、必ずメモしておきましょう。
変更後のパスワード：

STEP 01 下記のURL (またはQRコード) にアクセスし、ユーザーIDとパスワードを入力してログインしましょう。
▶ URL: <https://jukou.sakidori-study.ne.jp> ▶ QRコード: 

STEP 02 課題の締め切りを守りながら計画を立てて受講を進めましょう。
◆ あなたの課題の提出締め切り日 ◆ ※課題の提出状況は皆さんの受講成果として確認をしています。

課題名	締め切り	終わった日
これまでの学びの振り返り～音読！このプログラムで頑張りたいこと		
Work1 はじめの一歩		
スタートBOOK STAGE 1 / 大学生チャレンジ！①		
スタートBOOK STAGE 2 / 大学生チャレンジ！②		
スタートBOOK STAGE 3 / 大学生チャレンジ！③		
Work2 学びのまとめ		
アフターテスト/スタートBOOK 終了！学習を振り返ろう		
パワーアップBOOK1 STAGE1		
パワーアップBOOK1 STAGE2		
パワーアップBOOK2 STAGE1		
パワーアップBOOK2 STAGE2		
パワーアップBOOK3 STAGE1		
パワーアップBOOK3 STAGE2		
work3 未来の自分を考えよう/今の気持ちを確認しよう！		
課題の最終提出期限日	この日までに、課題の提出期限が切れます。提出期限を過ぎると、提出できなくなります。	

万が一、各課題の締め切りまでに提出できなかった場合でも、最終提出期限日までは取り組みますので、諦めず最後まで取り組みましょう。

WEB受講ページ(WEB)

WEBの受講ページでも課題の取り組み締め切り日やどこまで完了しているかの確認が可能。

学問サキドリプログラム		
ようこそ！●●●●さん		
受講ページ		
締め切り	完了日	
12/20	12/20	受験前アンケート
12/30	12/30	ピフォーテスト
01/05	01/05	リハビリ・医療系 ワーク①
01/20	01/20	リハビリ・医療系 Stage1
01/30	01/30	リハビリ・医療系 Stage2
02/05	02/05	リハビリ・医療系 Stage3
02/10	02/10	リハビリ・医療系 ワーク②
02/20		アフターテスト
02/25		受験後アンケート
03/01	03/01	データベーストレーニング Stage1
03/05		データベーストレーニング Stage2
03/10		データベーストレーニング Stage3

紙とWEBで取り組み締め切り日を確認することができ、
高校生の生活スタイルにあわせて学習計画を立てて受講が可能。

特長②：取り組みサポート体制

②学習習慣・
学習継続力の育成

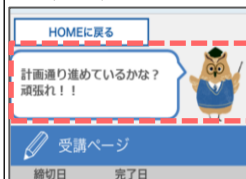
サポートの種類	対象	実施内容	実施のタイミング・回数
受講促進ハガキ	全受講者	受講生へ課題受講に関する応援メッセージを記載した励ましハガキを発送します。	教材発送日の翌月に1回のみ発送
課題未提出者への受講促進メール	課題未提出の受講者	受講者が事前に登録したメールアドレスに、受講再開のリマインド・取り組みの励ましメールを送信します。 ※メール本文の変更はできません	下記の時点で未提出課題がある場合 ①スタートBOOK STAGE1提出期日 前日時点 ②スタートBOOK STAGE2提出期日 前日時点 ③受講終了期限日 10日前時点
かけTEL	①ログインがない受講者 ②課題未提出の受講者	取り組みが芳しくない受講者に電話をかけ、状況の確認を行います。 ※4月以降は入学後の学業に専念いただくことを優先し、実施いたしません	下記に該当する場合に実施。 受講教材数によって実施回数・タイミングが異なります。 ①初回課題の期限日を過ぎて未ログイン ②STAGE課題の期限日を大幅に過ぎた
掲示板メッセージ	全受講者	Web課題の取り組み期限日を目途にメッセージを配信します。 ※メッセージの通知機能はございません	個人ごとの受講スケジュールに沿って、受講ページ内の掲示板にメッセージを記載。
アバター	全受講者	受講進度にあわせた褒め・励ましメッセージを表示します。	受講ページにメッセージを表示。

■ 受講促進ハガキ



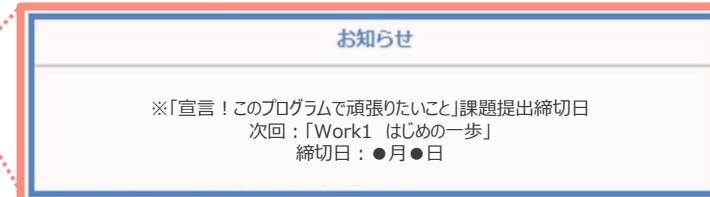
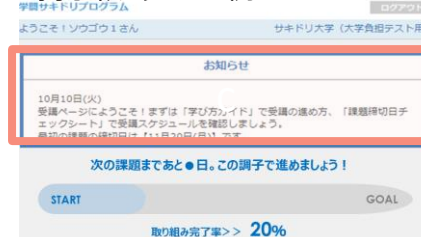
受講応援のメッセージと共に受講状況を確認をしている旨も記載することで受講の優先度を高める

■ アバター



★大学・学校オリジナルキャラクター画像の搭載も可能

■ 掲示板メッセージ例



受講期間中は、オンライン環境下でも最後まで1人で取り組むことができるよう褒め励ましサポートを実施。

問題を解いてみて、**高校と大学の学習のつながり**がさらに深く理解できた。
この知識が**日常生活にどのように使われている**のか理解することができた。
興味がなかったことも、学びを通じたことで**もっと知りたい**という気持ちが出てきた。
これからの将来のことも考え、とても自分のためになる時間だった。
やり切れるか心配だったが、**分野ごとに少しずつ勉強ができる**のでやりやすかった。

学問サキドリプログラムを
受講してよかった！

とてもあてはまる + まああてはまる の合計

95.6%

確認テスト
専門問題スコアの伸び

アフターテスト得点- ビフォーテスト得点

+11.9%

高校と大学の学習のつながりが深く理解できた等、
受講者から満足度の高い声が多数。

特長③：個別面談などのご指導に活用いただける「個人票」

③受講データ活用

●学生一人ひとりの受講結果を1シートで確認

サンプル

●●●大学 学術サキドリプログラム 個人票 (面談シート)

個人の受講結果と学内平均、履修結果のアンケート結果をご参照頂き、ご指導にぜひご活用ください。以下の「学習進捗状況」欄にご記入いただいた結果が本シートにて表示されています。

学習進捗状況	個人票ごとの学習進捗状況	学習進捗状況
A. 履修状況	●●●大学	●●●大学
B. 履修率	●●●大学	●●●大学
C. 学力状況	●●●大学	●●●大学
D. 履修率(段階別)	●●●大学	●●●大学

1. ビフォー/アフターテスト受講結果

項目	ビフォーテスト (前年度)	ビフォーテスト (本年度)	ビフォーテスト (平均)	進捗率	達成率	達成率	達成率
取得率	50%	50%	100%	50	10	50	10
達成率	30.0%	20.0%	50.0%	40.0%	50.0%	20.0%	60.0%
学内平均達成率 (●●●大学)	25.0%	25.0%	50.0%	60.0%	70.0%	50.0%	70.0%

2. スタートBOOK受講結果

項目	アフターテスト (前年度)	アフターテスト (本年度)	アフターテスト (平均)	進捗率	達成率	達成率	達成率
取得率	50%	50%	100%	50	10	50	10
達成率	40.0%	30.0%	70.0%	40.0%	60.0%	60.0%	70.0%
学内平均達成率 (●●●大学)	25.0%	35.0%	55.0%	60.0%	70.0%	50.0%	70.0%

項目	内容	ポイント
1. ビフォー/アフターテスト受講結果	<ul style="list-style-type: none"> ・得点率（問題系統別、合計） ・受講前後のテストの伸び ・提出状況 	プログラム受講前後の得点から成果の検証結果をご確認いただけます。また問題系統別の得点結果より、苦手分野の傾向もご確認いただけます。
2. スタートBOOK受講結果	<ul style="list-style-type: none"> ・STAGE別提出状況、得点率・ワーク取り組み状況、ワークを通して得た気づき 	提出課題の取り組み状況と自主探究学習型のワークで得た気づきをご確認いただけます。
3. 高校時代の履修状況	<ul style="list-style-type: none"> ・高校時代の履修状況の一覧 	受講結果と履修状況をあわせてご確認いただき、貴学での学びにおいて必要な基礎学力のフォローの必要有無をご確認いただけます。
4. プロフィール	<ul style="list-style-type: none"> ・受講前後のアンケート結果 	進学満足度や進学理由などから、受講生がどのような気持ちや志をもって入学してくるのかをご確認いただけます。
5. パワーアップBOOK受講結果	<ul style="list-style-type: none"> ・STAGE別提出状況、得点率、学内平均得点率 	提出課題の取り組み状況をご確認いただき、基礎学力のご指導にご参考いただけます。

個人ごとの受講結果・アンケート結果を元に、特に注目したい項目を抜粋した個人票で面談時のご指導にも活用が可能。

新学期に先立つスクーリングやゼミ・クラス分けに…

5分でわかる！

学問サキドリプログラム 受講データ活用ワンポイントセミナー



～ 入学準備期間の活用編 ～

お伝えしたいことは2点だけです

①受講開始後すぐに取得できるデータ

②活用の観点 場面別

A スクリーニングや面談など入学生とコミュニケーションする場合

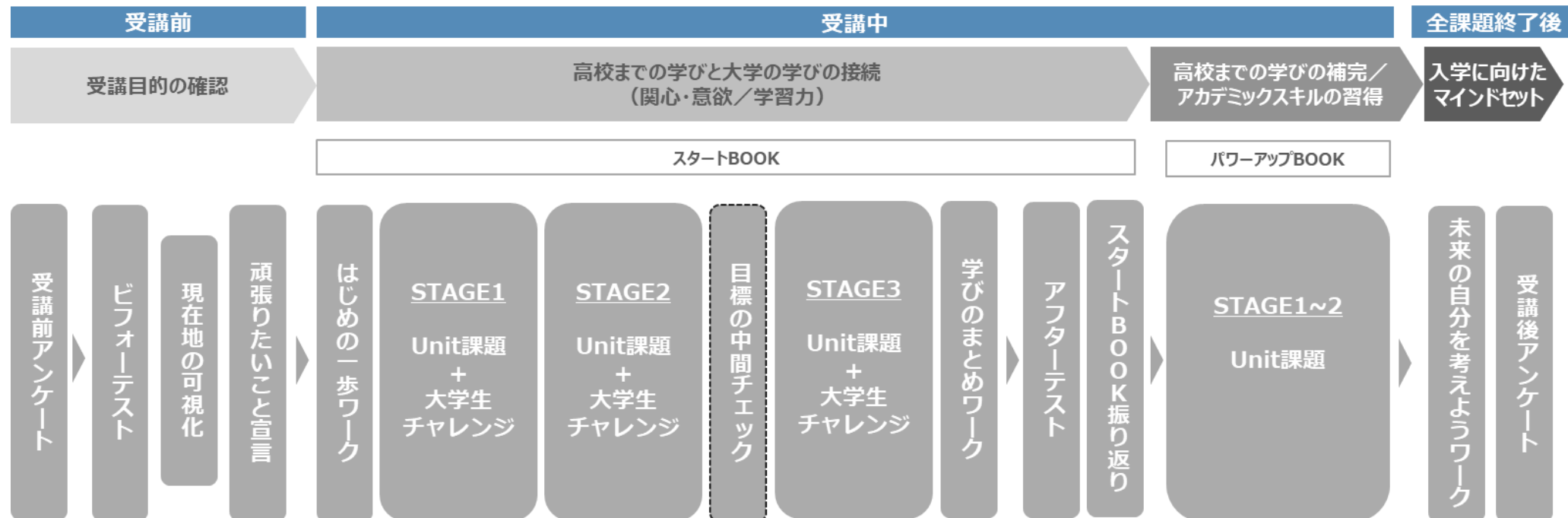
B 初年次のゼミ・クラスなど入学生をグループ分けする場合

貴学の入学準備にお役立ていただけると幸いです



受講者は紙の教材で学習し、Web課題を提出
アンケート／ワークのデータ抜粋を含む「**指導用データ**」を毎日更新してお届けします

プログラム受講の流れ



受講者はユニットごとの課題提出期日を意識しながら取り組みを進めます
課題提出翌日には、受講内容を確認できます

活用の観点： スクーリングや面談で…

 スクーリングで…

- ・**不安や心配**の内容について、全体発信し不安解消
- ・**志望理由**を踏まえつつ、学習が将来につながることを伝え、学習意欲向上

 特定の学生を抽出し個別フォロー

- ・**課題提出**が止まっている学生と学習状況・理解度の確認
- ・**進学満足度**が低い学生と状況確認
- + **頑張ることを確認し学習意欲促進**

 個別面談で…

- ・**志望理由、頑張ることを確認し学習意欲向上**
- ・**不安や心配**の背景を把握・アドバイスで不安軽減
- ・**課題提出**状況を踏まえて学習習慣を把握
- ・**得点率**が低い場合はつまずきの背景を把握
必要に応じて、学習方法をアドバイス
- + **期日内提出や得点率**などがよい場合は
取り組み姿勢を認めて学習意欲促進

アンケートやワークの自由記述を踏まえて伝える/聞き取る ことで

これからの学習継続につながる不安や心配の軽減、学習意欲の向上等が期待できます

スクーリングでの活用の観点 事例① 不安を軽減し取り組みの必要性を伝える

19



<指導用データ>

- ✓不安や心配
- ✓頑張りたいこと
- ✓志望理由 など

スクーリングのコンテンツとして…

- 先輩学生より各学科での学びの紹介
- 外部講師が入学前の準備学習の重要性をプレゼン
- 先輩学生と入学予定者がブレイクアウトルームで相談会

先輩はどんな
不安があったか
現在はどうか

課題は入学後
この学びに
つながっている

先輩はこうして
入学前課題に
取り組んだよ！

その他、匿名で不安を取り上げて全体回答するような工夫もお聞きします



<指導用データ>

- ✓ 課題提出状況
- ✓ 得点率
- ✓ 不安や心配
- ✓ 頑張りたいこと
- ✓ 目標・意気込み など

スクーリングのコンテンツとして…

- ・大学生活や入学後の学びの紹介
- ・グループワーク（入学後にしたいこと）
- ・保護者同士のグループワークも

課題は入学後
この学びに
つながっている

個別面談のコミュニケーションとして…

- ・学習状況把握、必要時はアドバイス
- ・目標や意気込みを確認し学習意欲向上
- ・不安や心配の背景を理解しアドバイス

課題進捗は順調
かな？つまずいて
いる理由は？

学習動機は？
学習習慣は？
学習方法は？

活用の観点：ゼミ・クラス分けの際に…

2023.03 07 基礎学力と学習習慣の定着を目的に入学前教育を実施－聖徳大学

● 入学前教育・入学前教育 ● 入学前教育 ● 入学前教育

3行でわかるこの記事のポイント

- 看護学部は今年度、外部プログラムの活用により切り替え
- 年内入試による入学者が対象
- 受講データをクラス編成に活用し、学力レベルの隔りをなくす

聖徳大学の看護学部と人間栄養学部は2021年度に入学前教育を刷新した。身近な題材を通して専門分野に触れながら基礎知識を養い、履修の課題にも触れる教材を活用。入学直後から学生の意欲の向上が感じられたという看護学部の事例を中心に紹介する。

最新ニュース

- パソコンナンバー
- 2025年No.318 「新しい中場」へ専攻、職掌、地域を拡大して

2023.12.09

高大接続にも配慮し外部プログラムを採用

年内入試入学生の学力把握のために
参考情報として活用

The table displays performance data for two groups: 'I-START BOOK 成績の傾向' and 'E-START BOOK 成績表'. It includes columns for '科目' (Subject), '平均点' (Average Score), '標準偏差' (Standard Deviation), and '偏差値' (Deviation Value). A central orange box highlights '各科目に対する理解・検定' (Understanding/Assessment for each subject) and '各科目の得点率' (Score rate for each subject).

＜指導用データ＞
✓ 得点率

💡 グループ分けの参考情報としては他にも…

- ・課題提出が止まっている
 - ・期日後提出が多い
 - ・得点率が低い（ビフォーテスト／Web課題）
- + 期日後提出や得点率が気になる学生は
取り組み時間も参照いただけます

ビフォーテスト/Web課題の得点率 に加え、時系列の課題提出状況 を把握することで
入学後の指導負荷軽減等が期待できます

お伝えしたいことは2点だけです

①受講開始後すぐに取得できるデータ

②活用の観点 場面別

A スクリーニングや面談など入学生とコミュニケーションする場合

→ アンケート・ワークの内容を踏まえて

伝える／聞き取ることで不安軽減・学習意欲向上

B 初年次のゼミ・クラスなど入学生をグループ分けする場合

→ 課題の得点率・期日内提出率等を参考に

入学後の指導負荷軽減につなげる

貴学の入学準備にお役立ていただけると幸いです

受講結果と学内にある各種指標を関連づけて分析するとき・・・

5分でわかる！

学問サキドリプログラム 受講データ活用ワンポイントセミナー



～ 教学領域でのIR活用編 ～

受講結果データをIR観点の参考情報としたい

学内における各種施策の見直し・改善に活用したい

```
graph TD; A[受講結果データをIR観点の参考情報としたい] --> B[学内における各種施策の見直し・改善に活用したい]; B --> C[教学領域の改善]; B --> D[入試領域の改善]; C --> E[受講完了率と学内にある各種指標を関連づけて分析]; D --> F[入試区分ごとに学修リテラシータイプを検証];
```

教学領域の改善

入試領域の改善

受講完了率と学内にある
各種指標を関連づけて分析

入試区分ごとに
学修リテラシータイプを検証

入学前教育の受講結果データ

||

入学後の成長の基盤となる「履歴・足跡」



「履歴・足跡」を中長期で確認することが
学生の成長施策の検討・実行に有効



入学前段階で形成された学習姿勢・習慣が
入学後も継続しているか/変化したかを
いくつかの指標（モノサシ）で確認

**【A大学：採用1年目】**

今年から学問サキドリプログラムを採用したが、2年生よりも1年生の方が講義を聞く態度や出席率も高く、プログラムを最後までやりきっている受講生が特に良い傾向。

【B大学：採用3年目】

プログラムの完了率は入学後の様子と相関が出ていると感じる。数名ではあるが、プログラムを全く手を付けずに終えてしまった受講生や進捗が半分以下の受講生は、入学後に気になる学生として学内でも声があがりやすい。

**【C大学：採用5年以上】**

プログラムの受講者は、意欲・学習習慣がやはり高い傾向が見られる。学力面についても、プログラム受講状況が良い学生ほど継続して努力ができ、1年生前期で成績がふるわなくても、1年生の後期・2年進級時に伸びてきやすい傾向。

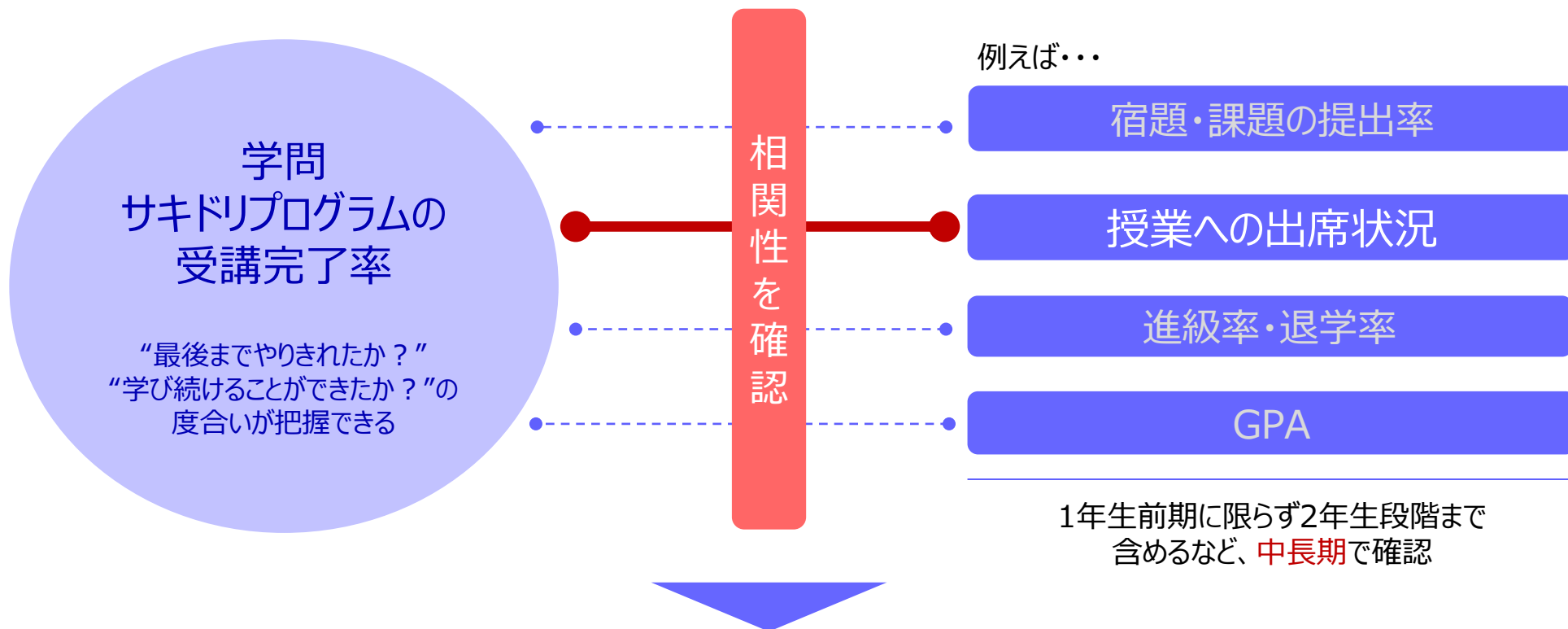


学問サキドリプログラムの受講完了状況が、
入学後の学生の様子に相関が見られやすい。

学生の継続的な成長を確認する際の推奨例

入学前の状況・学習姿勢が
わかる指標

入学後の状況・学習結果が
わかる指標



成長の基盤となる学生の履歴・足跡を
自学の状況に合った「指標」で確認することで
成長プロセスの可視化につなげる

学生募集広報の方向性検討や入学生への安心した受け入れ体制をアピールするときに・・・

5分でわかる！

学問サキドリプログラム 受講データ活用ワンポイントセミナー



～ 学生募集広報への活用編 ～

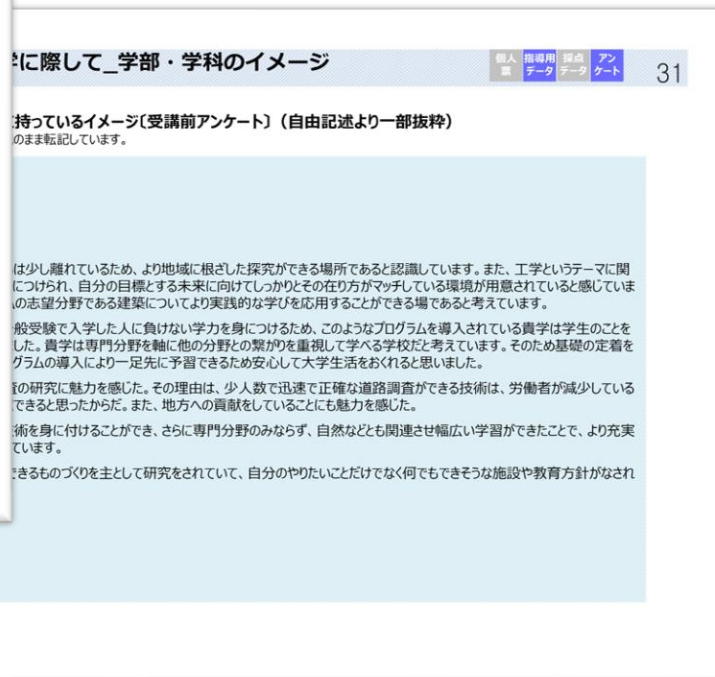
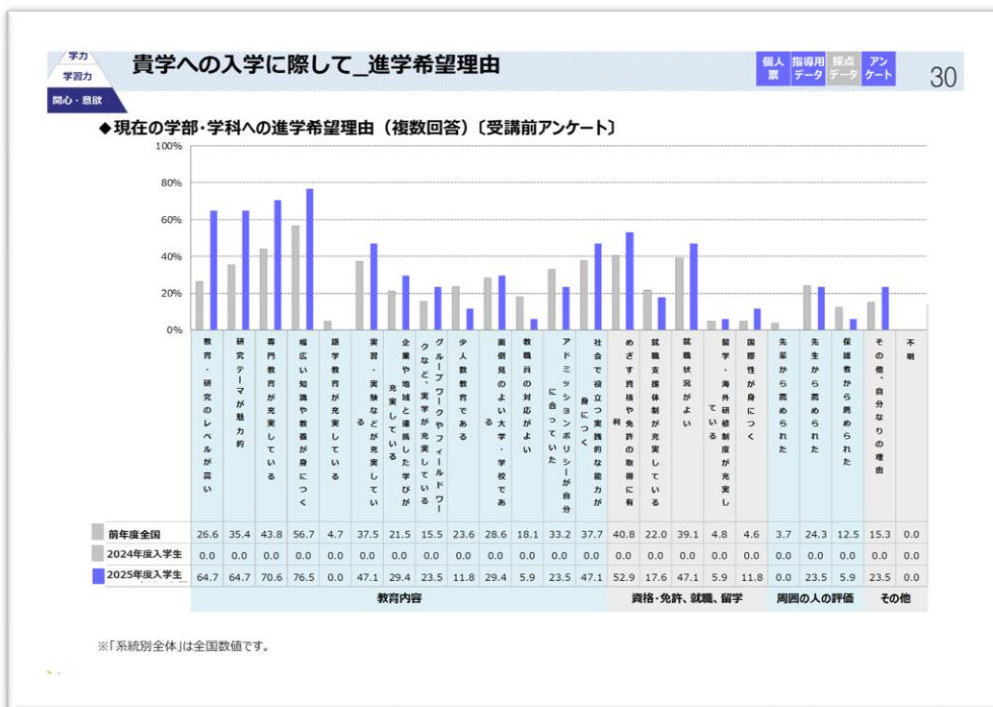
お伝えしたいことは2点だけです

29

- ① 広報の方向性を考えるために入学前教育のデータを分析する
- ② 受講結果データを用い、入学前教育実施自体を“教育力”として可視化する

貴学の学生募集広報にお役立ていただけると幸いです

おすすめ活用法① 広報の方向性を考えるために入学前教育のデータを分析する



「進学希望理由」、「学部・学科のイメージ」のデータから、
 現在貴学の広報活動を通して訴求していることが高校生に正しく伝わっているか、
 また訴求している内容を高校生がどのように受け止め、貴学のイメージを持たれているか確認ができる。

コンテンツ

- ☑ 貴学が強みとして訴求している広報メッセージが高校生に届いているか
- ☑ 潜在的な貴学の強みは何か

【活用するデータ項目】

「進学希望理由」における該当項目の数値
「学部・学科のイメージ」での回答内容
(+a「未来の自分を考えようワーク」の記載内容)

ターゲット

- ☑ 広報メッセージを発信していく際にポイントとなり得るターゲットがどこか

【活用するデータ】

「進学希望理由」の「周囲の人の評価」における各ステークホルダーの数値
※数ある「進学希望理由」の項目のうち、「周囲の人の評価」の選択肢を選ぶのは、影響があったと考えられる。

高校生に伝わってほしいこと：少人数教育を実施、面倒見のよい大学として見られたい。

● 進学希望理由

→たしかに「少人数教育である」という項目が非常に高い数値になっているが、「面倒見のよい大学である」の項目が前年度よりも低い数値に。

● 学部・学科のイメージ

→「少人数教育だからこそ一人ひとりへの対応が丁寧」などの記載はたしかに見られるが、他の意見が前年度の入学者よりも見られる

+

● 入学者の様子

→「少人数だから、自分のペースで進めることができる」など、大学が想定していない志望理由を聞くことが多かった。

少人数教育だからこそそのメリットを、学生にとってより分かりやすく、丁寧に伝えるのが良いことに気づく

よくある発信例①

1人ひとりに寄り添った少人数教育で
自立した女性を育てる

→ビジョンのみが語られている

よくある発信例②

THE世界大学ランキング日本版2019
「教育充実度」◎位にランクイン

→エビデンスのみが語られている

推奨したい発信例

自ら考え発信できる女性の育成を目指しています。
そのため、10人以下の少人数ゼミを1年生から実施しています。
結果、THE世界大学ランキング日本版2024の
「教育充実度」で◎位にランクインしました。

セットで語る

Vision

Process

Evidence

3つの要素を一緒に伝えることで、「教育力」を分かりやすく発信することが可能。
特にエビデンスおよびプロセスにおいて、入学前教育の実施と得られたデータを活用することで、
貴学の教育力を可視化することができる。

お伝えしたいことは2点だけです

- ① 広報の方向性を考えるために入学前教育のデータを分析する
→ アンケートやワークから得られた定量・定性データを分析することで、
学生募集広報のコンテンツやターゲットの方向性を検討できる

- ② 得られたデータを用い、入学前教育実施自体を“教育力”として可視化する
→ Vision・Process・Evidenceの3要素をセットにして、
入学前教育を実施していること自体を“教育力”として訴求できる

貴学の学生募集広報にお役立ていただけると幸いです

お気軽に担当者まで
ご相談ください